

## 2012 年度 第 1 回 NGO-JICA 協議会用資料

2012. 8. 3  
名古屋 NGO センター  
龍田 成人

国内における NGO と JICA の連携について**1. 経緯**

様々な困難な社会状況の中、市民／国民から国際協力への理解を得ることは、NGO と JICA 双方の共通の課題であり、その推進のために、国内においても、NGO-JICA 間の連携を発展・強化する試みを続けている。2010 年度に実施した調査やそれに基づく問題提起を行った。2011 年度は、前年度の問題提起に基づき、主要の 5 テーマについて、開発教育は分科会を設置し、地域連携、国内外の活動連携、人材育成、国際協力 PR の 4 つのテーマについては本会合で話し合い、JICA 側、NGO 側の協力により、いくつかの項目で目標を達成した（下表、参照）。国内における連携は重要なテーマであり、2012 年度も引き続き話し合っていきたい。

表 1 2010 年度第 4 回 NGO-JICA 協議会 (3/1) で指摘された主な課題や目標と、2011 年度の成果

主な課題あるいは目標	2011 年度の成果
<b>課題 1) 開発教育</b> ・ モニタリングと協働の場の設置 ・ 開発教育の理念や目的に関する共通理解 ・ 事業の協働性の向上、委託契約の比較劣位の防止	<b>&lt;2011 年の分科会設置により前進&gt;</b> ・ 分科会設置→2012 年度は協議会での報告。 ・ 開発教育小委員会での討議を念頭に置く。 →今後の課題。
<b>課題 2) 地域連携</b> ・ JICA-NGO の連携地域が限定的。各地域 NGO が孤立。 ・ 地域ネットワーク NGO 間の相互にエンパワーする仕組。 ・ ニーズや潜在能力の把握。 ・ 各地域における NGO と JICA の連携推進。	・ NGO 側で実施したアンケートの活用。 →2012 年度に検討したい。 ・ NGO 相談員会議後に地域 NGO 間意見交換。 ・ 中部での場作り。中四国での新しい動き。
<b>課題 3) 国内外の活動連携</b> ・ 国内外での共通の開発課題に関する事業への資金供給。 ・ 国内の深刻な社会状況に対する認識向上。	・ 東日本大震災の影響を受け、状況が一変。
<b>課題 4) 人材育成</b> ・ JICA の研修事業、JOCV 等への NGO の関与が限定的。	・ JICA ボランティア事業タスクで大きく前進。 →2012 年度は本邦研修について扱う。
<b>課題 5) 国際協力 PR</b> ・ NGO と JICA の特徴を活かしたインパクトの高い PR 法	・ なん프로で改善中。
<b>目標 1) 具体的な改善案の実現</b> ・ 具体的な改善策の合意 ・ 改善策の実施状況のモニタリングとさらなる改善	・ 多くの具体案で合意。 →今後の課題。
<b>目標 2) 国内における連携に関する文書の合意</b> ・ 連携のメリット、阻害要因などをまとめた文書の作成 ・ JICA 内および NGO 間での共有と周知。	・ 中部で協働のハンドブックを作成 →今後の課題。地域性を重視する必要あり。
<b>目標 3) 国内における事業事例集</b> ・ 負担のかからない方法で、事例集を作成。関係者に配布。	・ 人員不足のため、来年度に持ち越し。
<b>目標 4) JICA 内での「NGO との協働」意識の浸透</b> ・ JICA に対して、NGO との連携の重要性をアピール。 ・ 既存会議（機関長、担当課長、推進員）での NGO の出席 PR。	・ いくつかの会議で NGO の時間が設置。 ・ JICA 関係者による周知。

## **2. 2012 年度の検討課題**

2011 年度第 4 回協議会での合意内容に基づき、2012 年度は、以下の 4 項目について、議論したい。なお、草の根技術支援については、国内における連携のテーマとして扱わないが、地域 NGO からの留意点を併せて記述する。

### **(1) 地域連携**

- 1) 地域開催の積極的活用
  - ・ 第 2 回協議会の中国開催等の検討
- 2) 各地域での課題と連携状況の共有
  - ・ 中部地域をはじめとする各地域での好事例の共有
  - ・ TV 会議システムを用いた地域 NGO の参加促進 (→ 本日、関西、中国、中部で実施)
  - ・ 全国にわたる地域ネットワーク NGO へのアンケートの継続→ JICA への情報提供、提言
- 3) 各地域での活性化策の推進
  - ・ 連携に積極的な地域への連携促進支援 (四国や中部などの先進地域を除く)
  - ・ 地域間での学びあいや事業移転の支援 (NGO 関係者も参加できる仕組み)
- 4) JICA と連携できない、地域の中小 NGO との連携策の模索

### **(2) 本邦研修**

- ・ 第 3 回協議会 or 第 4 回協議会のテーマとして、それに向けての討議を進めていく。

### **(3) 事例集の作成**

国内における連携事例集を作成し、各機関で共有することで合意している。これに基づいて、以下の点を提案したい。

- 1) NGO、JICA から、添付のフォーマット等を利用して、11 月までに事例を、NGO、JICA 双方で募集し、第 3 回協議会で共有する。(フォーマットは改良の余地あり)
- 2) 集まった事例集を PDF ファイルとし、各 NGO および JICA の国内機関等へ展開する。
- 3) JICA およびネットワーク NGO の web サイトで公開する。
- 4) これからの連携の参考とするために、NGO 単独で行っている事例についても集める。

### **(4) 開発教育**

・ 基本的に、2011 年度分科会からの提言に基づき、進捗状況の報告を受ける。議論を前提としていない。(提言書は地域開催推進、情報共有、協議の場の設置などにも言及。)  
<「開発教育/国際理解教育に係る NGO と JICA の連携強化に向けて (提言書)」より抜粋>

#### **(4) NGO-JICA 協議会への報告**

毎年、NGO-JICA 協議会に対して、当年度の実績 (見込みも含む) と次年度の計画を報告する。

### **(5) 草の根技術支援での留意点**

2011 年度第 4 回協議会でも指摘されたように、草の根の予算が右上がり増加しない現状を踏まえて、新規採択案件の減少、制度運用の見直しなどが懸念されている。

- 1) 地域の NGO および中小の NGO、新規参入を目指す NGO が実質的に不利にならないように配慮していただきたい。
- 2) 制度の評価や運用見直しにおいても、上述の NGO の意見が反映できるよう配慮して頂きたい。

### 3. 中国地域での連携

中国地域の JICA および NGO での新しい連携の動きについて、JICA 中国 有田課長および ANT-Hiroshima の渡部さんからご説明していただきます。地域開催の提案の可能性についても伺っています。

### 4. 中部地域での連携

#### (1) 協働のハンドブック作成

これまでに、1 から 5 の主要部分に関しては NGO-JICA 双方で最終合意。現在、成果集および補足資料を作成中。

#### <ハンドブックの構成と内容>

- |                       |                              |
|-----------------------|------------------------------|
| 1. はじめに               | ・ 協働の定義、意義、ハンドブックの位置づけ、構成    |
| 2. 協働の有効性と魅力          | ・ 担当者からワークショップで出された意見        |
| 3. 双方の考える課題           | ・ 担当者が日ごろ感じている率直な(主に相手方の)課題  |
| 4. 協働を進めるために必要なこと     | ・ 協働を進める上で、常に意識すべきこと         |
| 5. 協働関係をさらに発展させるための方策 | ・ 難易度の高い、より発展的な課題            |
| 6. 各種事業における成果集        | ・ 代表的な事例の経緯、歴史、目的、成果→引継ぎに有効  |
| 7. 補足資料               | ・ 市民参加事業とその関連法令、ハンドブック作成の過程等 |

#### (2) 中部 NGO-JICA 中部 地域協議会 (以下、中部地域協議会)

第 2 回 中部地域協議会を、以下の日程で実施。

日時 8 月 23 日 (木) 17~19 時

場所 JICA 中部 ミーティングルーム

- ・ 第 1 回 中部地域協議会について、議事録および資料等が以下の URL に掲載された。

実施要領、設置の意義等も今後公開される見込み。

<http://www.jica.go.jp/chubu/office/conference/01/index.html>

以上

## NGO と JICA の国内での事業に関する事例提供フォーマット(案)

団体名:

記入者(役職名):

連絡先(担当者):

分類 (対象に○)

- 1)国際協力 PR 事業 2)開発教育関連事業 3)人材育成事業  
4)国内の裨益者を対象とした事業 5)国内と海外の活動をつなぐ事業 6)その他の国内事業

事業名

実施時期                      年              月              日

事業内容

特出すべき点(事業の成果、うり、JICA/NGOへの要望)

NGO-JICA間の連携の有無 (いずれかに○)      有              無

その内容(連携有りの場合)

\* 頂いた事例は事例集として、全情報を JICA 関係部署および NGO 関係者に提供します。

\* 写真なども含め、A4 2 ページ以内にまとめてください。Word か PDF で提出して下さい。